

一步を踏み出す勇氣

長光寺 福島伸悦

「百尺竿頭（ひゃくしゃくかんとう）一步を進めよ」という禪の言葉があります。直訳すると「30メートルの高さの竿から一步を踏み出せ」という意味になりますが、本来の意味は、悟りの境地からさらに一步を進め、いま・この現実をしっかりと見つめ、さらに精進弁道すべきであるということです。

悟りを得たからといってそこにとどまっていたら、進歩はありません。そこにしがみついているのは執着であって、何も良い事は何もありません。この執着から離れる事が出来ると、また違った世界が開けてきます。頭の中であれこれ考え、ためらってばかりいてはなかなか前には進みませんね。行動に移して初めて何かが始まるのです。同じように、失敗を恐れていると成功につながりません。失敗も悟りへの一步なのです。無駄な事はありません。

人は人生の中で、決断を迫られる時が何度もあります。すぐに決断をしなければならぬ時、あるいは熟慮したのちに決断をする時など、いろいろな場合が考えられます。迷う時というのは、目的がぼんやりとしていて自分の中ではっきりしていない状態の時です。ですから目的意識を持って事に当たることです。

決断は色々な条件が整った時に出来るものですが、そうでない場合もあります。先に何かあるかわからなくても一步を進める事で、新しい世界が広がります。一概にこうあるべきだとは言えませんが、とにかく勇氣を持って一步を踏み出すことで状況は変わってきます。決断はなかなか難しいのですが、私は、最終判断をする時に必ず思い浮かべる事が一つあります。それは「みんなの為になるかどうか」ということです。これに照らしてから一步を踏み出すようにしています。